

内野・五十嵐まち協だより

第18号

発行 内野・五十嵐まちづくり協議会 発行日 令和4年3月



民生委員と自治会長との 懇談会を開催しました

地域福祉活動を行うにあたり、行政、社会福祉協議会並びに自治会や民生委員等が相互に連携することが重要、との考えから、初めての試みとして「民生委員と自治会長との懇談会」を12月10日に内野まちづくりセンター 3階ホールで開催しました。

民生委員20名、自治会長8名の参加の他、西区役所健康福祉課、西区社会福祉協議会、西区支え合いのしくみづくり推進員からも参加いただき、懇談会の進行等にご協力いただきました。

懇談会は、最初に「内野・五十嵐地区における高齢化の状況」や、「他地区における民生委員と自治会との連携した取り組み事例」などについて、「支え合いのまちづくり～地域でつなげるネットワークづくり～」と題して西区役所健康福祉課小林地域福祉係長様からの報告のあと、「民生委員の活動状況」について内野地区民生委員児童委員協議会の原会長様から説明を受けました。次に、事前に行った民生委員、自治会長それぞれへのアンケート結果の報告を受けた後、3つのグループに分かれて地域福祉活動

の現状や取り組みの状況、今後の課題等について活発な話し合いが行われました。その後、各グループごとに話し合いの内容が報告され、参加者全員で共有することができました。

内野・五十嵐まちづくり協議会としては初めての取り組みのため、顔合わせと情報交換が中心となりましたが、参加者へのアンケートでは「他の自治会の現状や問題点が聞けて参考になって良かった」「今後も継続してほしい」などの意見が多く寄せられました。一方、「自治会長の参加が少なく残念だった」「民生委員と自治会が連携・協力して対処した事例報告や、地区全体に共通する課題について話し合っはどうか」などの意見も寄せられました。

まちづくり協議会では寄せられた意見を参考に、今後も「民生委員と自治会長」或いは関係役員も含めた「民生委員と自治会」との懇談会等を開催したいと考えています。



文芸の故郷

内野・五十嵐地区は、他ではみられない「文芸の人」をたくさん輩出する魅力あふれる地域です！

半径わずか1kmの内野・五十嵐地区にあらゆるジャンルの文芸関係者を途切れることなく輩出する風土

文	音楽(作詩・作曲)		
	文学(小説・編集) (短歌・俳句) (ジャーナリスト)		
芸	大衆文化(マンガ)		

美術・工芸部門の作風を生む風土



内野・五十嵐地区は、文学・音楽・美術・工芸等、あらゆるジャンルの様々な文芸に関わる人が輩出されています。その背景にあるのは、約200年前に開削された新川であり、そこから生まれた独特の風土と景観です。これらは全て内野・五十嵐地区にとっての大きな宝と言えます。この宝をどのように受け止め、生かしていくのが、現在、この地区に住んでいる私たちにとっての大きな課題であると思います。

愛着・おもてなしを合言葉に、皆様方のお一人お一人の力を結集して、より良いまちづくりに、つなげて行きたいと思っておりますので、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

そこで、越後新川まちおこしの会では、令和3年度、内野・五十嵐まちづくり協議会と一緒に、西区自治協議会の提案事業及び新潟市地域活動補助事業の2つの事業を通して、この地域を「文芸の故郷」と位置づけ、以下のような様々な活動を進めてきています。

- ガイドブック「文芸の故郷巡礼紀行」の作成
- 「文芸の故郷巡礼紀行」に基づいた新たな視点でのまち歩き
- 「文芸の故郷」に関する出前授業
(新潟県立新潟西高等学校、新潟市立内野中学校)
- 「文芸の故郷」に関するPTA講演会
(新潟市立内野小学校:リモートによる講演)
- 「文芸の故郷」に関するまち歩きと文芸の人コーナーの設置
(内野まちづくりセンター)
- 「文芸の故郷」まちおこし説明会(コロナ禍により延期)

今後、これらの活動を通して、内野・五十嵐地区に笑顔が溢れ、他所から来る人に温かい思いをしていただけるような素敵なまちづくりができることを願っています。そのために、感謝・誇り・

文芸の故郷巡礼紀行

わが地域の功労者

この度、永年にわたり内野小学校セーフティスタッフとして子供達の登下校時見守り活動をしてくださっている真島 紘一さん(大学南)と押見 清雄さん(五十嵐三の町)が西区功労者として西区感謝状を贈呈されました。また、同じく永年にわたり自治会全体で地域の環境改善に取り組んでいる内野広通町自治会には新潟市住みよい郷土推進協議会から表彰状が送られました。大変おめでとうございます。これからも健康に気を付けてご活躍をお祈り申し上げます。



初めての野球教室



日本文理高校野球部による野球教室が12月5日に同高校野球グラウンドで開かれました。

内野まちづくり協議会のスポーツを通じて地域のこどもたちの成長を目指す思いと、地域貢献と野球の楽しさを広めたいという日本文理高校の思いで開催され、内野小学校と小瀬小学校の野球好きな6年生から1年生20人が参加しました。

寒い日でしたが、多くの保護者も見守る中、準備体操、キャッチボールの後、守備練習、バッティング練習などをゲーム形式で教室は進められました。同高校野球部の鈴木監督や部員がわかりやすく手本を示すとともに、それぞれのプレーへのアドバイスもあり、楽しい野球教室となりました。

参加した生徒さんからは、「高校生にやさしく教えてもらいすごく楽しかった。監督からバッティングフォームを教えてもらいすごく良い経験になりました」「参加して、どんな動きをしたらよいか、どんな声を出したらよいか、勉強になりました。たくさん打つことができ楽しかった。」保護者からも「子供たちが楽しく練習をしている姿を見て、来年以降もぜひ続けてもらいたい。高校生の皆さんが優しく分かりやすく教えてくれ、うれしかった。」をはじめ、楽しかった、また参加したいとの声が多く寄せられました。

長年の古紙回収で五十嵐二の町自治会に感謝状



感謝状と記念品を受け取った会長
(中央)と古俣副会長(左)
(12月22日、新潟興産で)

自治会の古紙回収は 紙リサイクル推進の手助けです

五十嵐二の町自治会が長年にわたって実施している古紙の回収に対して、公益財団法人古紙再生促進センターより感謝状が贈呈されました。感謝状の授与は、古紙の回収活動を継続的に実施し、紙リサイクル推進への貢献が認められる団体に対して同センターが実施しているものです。令和3年度は新潟県から4団体が選ばれました。令和3年12月22日に、回収業者の新潟興産で感謝状授与式が行われ、自治会長と古俣芳顕副会長が出席しました。記念品として5万円分の商品券もいただきました。

1年に83トンの古紙を回収しました

五十嵐二の町自治会の会員は、町内11箇所のごみ置場の他に古紙・古着・アルミ缶専用置場を利用しています。古紙・古着・アルミ缶のごみ出しは、新潟興産との協議に基づき、主に月曜日に実施しています。11のごみ置場では4月・8月・12月・3月は3回、他の月は2回実施。専用置場は365日、時間にかかわらず誰でも利用しています。

令和3年度、当自治会は596世帯から古紙等の回収にご協力いただきました。その結果、年間の古紙回収量は約83トンに達しました。回収に対して新潟市から支給されました回収奨励金と新潟興産による古紙・アルミ缶の買取額を元手に、596世帯に1,500円分の商品券をお届けしました。

ごみ置場はきれいに、みんなで協力!

当自治会の各ごみ置場は、利用者の当番制による毎日の清掃と、自治会役員による粗大ごみや違反ごみへの対処等の努力によって維持・管理されています。

今後とも、ごみ置場の環境整備を進めながら、紙リサイクル推進の手助けとなる古紙回収事業を維持・改善することが、当自治会の大切な役割の一つではないかと考えています。

(五十嵐二の町自治会長 周藤賢治)



若宮神社境内の自治会館分館隣に設置されている古紙・古着・アルミ缶専用置場における古紙・アルミ缶回収状況(365日、利用されています。)

西地区コミュニティ協議会連合会 予算要望回答(新潟市) (令和3年12月7日実施)

- 西川沿い道路の劣化
- 西川沿い道路の現地を確認しましたところ、舗装のひび割れが著しく、路面剥離が発生しやすい状態となっておりましたことから、予算を見ながら、できれば今年度中から修繕したいと考えております。具体的な施工時期が決まりましたら事前にご連絡いたします。
- 空き家対策
- 空き家は個人の財産であり、管理は所有者の方に行っていただくのが原則です。本市の空家への現在の対応は、管理不全な空家について相談をいただいた

場合に現地調査を行った上で、住民票などから所有者を把握し、注意喚起と対応をお願いしています。

注意喚起しても改善しない場合は市の基準に照らして「特定空家等」に認定し、法律に基づく行政指導を行います。

行政指導によっても改善せず、放置することが不適切である状態にある案件は、行政処分を検討します。

また、所有者を把握できず上記の状態にある案件は条例に基づいて立入調査を行い、危険

性・緊急性の高い空家に対し、市が必要最小限の範囲で応急的に危険を回避する措置を実施します。

なお、空家の定義ですが1年以上継続して空家の状態がある場合に空家としての対応が可能となります。今回お話をいただいた6軒の空家のうち現在対応中のものが1軒、新たにお話しをいただいたものが5軒という状況です。

新たな空家5軒については、所有者に対して漠然と対策を求めるより具体的にどんなことに困っていてどうして欲しいの

かをより具体的に伝えることが、有効な手段となります。

より詳細な情報について、空家を担当する総務課安心安全係までお知らせいただくか一番詳細を把握している方をご紹介いただければこちらから聞き取りさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



※ ● 要望事項 ● 主な回答

2022年度「虹の部屋」年間予定表

会場 内野まちづくりセンター 2F 保育室・多目的ルーム(12月は3階ホール) 時間 10:00 ~ 11:00

開催日(2022年4月 ~ 2023年3月)	予約申込み期間・時間(9:00 ~ 13:00)
4月6日(水)	3/30(水) ~ 3/31(木)
5月11日(水)	5/4(水) ~ 5/5(木)
6月1日(水)	5/25(水) ~ 5/26(木)
7月6日(水)	6/29(水) ~ 6/30(木)
8月3日(水)	7/27(水) ~ 7/28(木)
9月7日(水)	8/31(水) ~ 9/1(木)
10月5日(水)	9/28(水) ~ 9/29(木)
11月2日(水)	10/26(水) ~ 10/27(木)
12月14日(水)	12/7(水) ~ 12/8(木)
1月11日(水)	1/4(水) ~ 1/5(木)
2月1日(水)	1/25(水) ~ 1/26(木)
3月1日(水)	2/22(水) ~ 2/23(木)

コロナ感染・拡大予防のため、各月8組の予約制となります。12月のみ30組です。申込み先 090-2481-1184

アイランドウインド
ごしまけいこさん・風間左智さんと一緒に楽しいクリスマス会(30組)



- お子様の安全面にはお互いに注意いたしましょう。
- ご自宅での検温と、大人の方はマスクの着用をお願いいたします。
- 熱やせき等の風邪症状のある方の参加はご遠慮ください。
- コロナ感染症の状況によっては、変更や中止となる場合もあります。

出来島桃子選手が北京2022パラリンピック冬季競技大会に出場します!



内野町二番町出身で内野小・中学校卒業生の出来島桃子選手が北京2022パラリンピック冬季競技大会のノルディックスキー及びバイアスロン競技の選手として出場します。出来島選手は、2006年のトリノパラリンピックから今回の北京パラリンピックまで連続して5大会の出場となります。ご活躍を期待しております。

※この広報誌「内野・五十嵐まち協だより」は「新潟市補助事業」を利用して発行しています。